

施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	企業経営革新の支援	施策No	05-05	部課名	産業経済部経営支援課		
関連部課名		課長名		陣内	内線	455	
行政評価	分野	産業革新都市					
事業体系	政策	05 活力ある地域経済づくり					
目的	産業を取り巻く環境が激変する中、企業競争力・経営力の強化に向けた新製品・新技術開発や販路拡大等の取組を支援することにより、区内企業の経営革新を促進し、区内産業の活性化を図る。						
指	幸福実感指標名 (5段階評価)	指標の推移			指標に関する質問文		
		25年度	26年度	27年度			
	まちの産業	2.52	2.50	2.51	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
	新製品・技術の開発に対する 取り組み意欲（％）	47.9	-	-	-	-	次回の実態調査は29年度を予定している。
	知的財産に関する専門家への 相談状況（％）	27.3	-	-	-	-	次回の実態調査は29年度を予定している。
	新たな販路開拓に対する取り 組み意欲（％）	39.9	-	-	-	-	次回の実態調査は29年度を予定している。
現状と課題 (指標分析)	<p>区内企業が企業間競争に生き残っていくためには、経営基盤の強化を図るとともに、従来の経営の枠組みにとらわれず、自社の強みを生かし、新製品開発や新事業進出等、経営革新に向けて新たな分野へ挑戦することが必要である。</p> <p>売上高が減少する中、区内企業の多くが販路拡大及び新たな商品開発を支援するためには、企業の開発経費の負担軽減や産学連携による技術供与等の支援を行う必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>新製品開発に要する経費を補助するとともに、24年度から「新製品・新技術大賞」を創設した。これにより、新製品等の開発機運を一層高めていく。また、「MACC（荒川区モノづくりクラスター）プロジェクト」を核とする産学官交流を推進し、さらに産業財産権取得費用の補助等を通じ、企業の経営革新に対する取り組みを強力に推進していく。</p> <p>見本市等への共同出展や出展に要する経費を助成し、販路拡大を支援していく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	区内企業が厳しい企業間競争に勝ち抜くためには、新製品開発や新事業進出、販路拡大等、絶えず経営革新に向けて新たな分野へ挑戦することが重要であり、その取組を支援することは区内産業の活性化のため、極めて重要である。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
経営革新等支援事業	05-02-20	21,314	29,350	重点的 に推進	重点的 に推進	当該補助事業を通じて、区内企業の経営基盤の強化と経営革新が図られることが期待されることから、区内産業活性化を目指すためには極めて重要と考える。
T A S Kプロジェクト事業	05-02-21	1,791	1,884	推進	推進	区を越えた企業間交流による新製品や新技術開発の端緒となる事業であり重要である。
荒川区新製品・新技術大賞	05-02-22	2,588	-	継続	休止・ 完了	本事業は、新製品の開発機運を醸成するだけでなく、様々な経営革新を進めていくうえで、有効であることから、今後も適切に制度設計をしながら、隔年で実施していく。
企業情報化支援事業	05-02-23	1,343	1,044	推進	推進	I Tを活用した生産管理等は業績向上に不可欠であり、I Tに関する経営知識等の提供は重要である。I Tによる商取引が急速に進む社会経済情勢に合わせ、より効果の高いI Tツールについて周知啓発を推進していく。
販売支援サイト事業	05-02-24	7,080	7,203	休止・ 完了	休止・ 完了	I C Tを活用した商環境が進展し、集客力の高い民間のインターネットショッピングモールが設立されていることから、本事業を完了した。
産業展助成	05-02-25	7,000	7,085	推進	改善・ 見直し	区内企業・産業の販路拡大のためにもB to Bは、機械要素技術展等の見本市への共同出展に特化する。またB to Cについては、物販に特化する等改善・見直しを図る。
合 計		41,116	46,566			